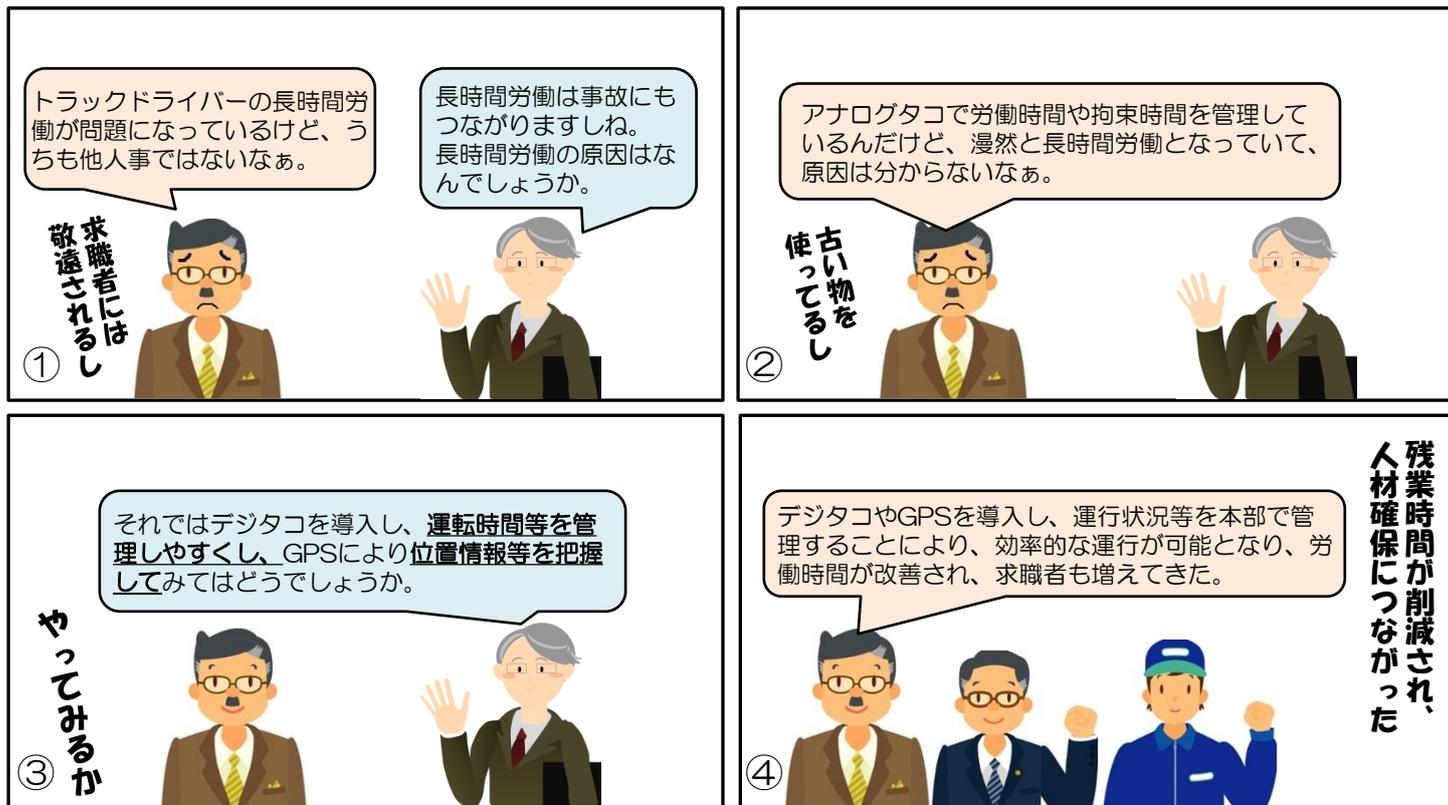


人手不足・社員の定着でお悩みの事業主様！

運行状況を見える化します



～労働時間(残業)を短くする工夫～



① 求職者には敬遠されるし
トラックドライバーの長時間労働が問題になっているけど、うちも他人事ではないなあ。
長時間労働は事故にもつながりますね。長時間労働の原因はなんでしょうか。

② 古い物を使ってるし
アナログタコで労働時間や拘束時間を管理しているんだけど、漫然と長時間労働となっていて、原因は分からないなあ。

③ やってみるか
それではデジタコを導入し、**運転時間等を管理しやすくし、GPSにより位置情報等を把握**してみはどうでしょうか。

④ 残業時間が削減され、人材確保につながった
デジタコやGPSを導入し、運行状況等を本部で管理することにより、効率的な運行が可能となり、労働時間が改善され、求職者も増えてきた。

取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」
「36協定上限引下げ★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：貨物運送業 従業員数：50名

トラック運転者について、運行経路や手待ち時間が管理されておらず、漫然と長時間労働となっていたため、**運行管理システムを導入**※し、業務の効率化を図った。

- トラックにデジタコを積載し、各労働者の運転時間・拘束時間を一元管理できるようにして、業務量の把握を行った。
- トラックにGPSを積載し、トラックの現在位置を把握するようにした。

【デジタコ設備導入費用には助成金】

○**時間外労働等改善助成金(時間外労働上限設定コース)**

助成率 80% かつ

上限額 最大200万円

【法人税の特例(経営強化税制)】

○即時償却又は取得価格の**最大10%**の税額控除

【固定資産税の特例措置】

○備品・設備等を新規取得した場合、固定資産税が**3年間にわたり1/2**に軽減

◆ 助成金等には一定の要件があります。

- ・業務量を把握したことで、労働者ごとの運行経路の見直し等を行い、業務負担の平準化が可能となった。
- ・急な集荷依頼に対しても、GPSでトラックの現在位置を把握し、集荷場所の近くにいるドライバーを集荷場所に派遣することが可能となり、業務の効率化が可能となった。
- ・業務負担平準化及び効率化により、残業時間が短縮され、36協定の上限を見直した※。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部:名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所:豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com